



蚊に刺されない生活を目指して

夏になると蚊に悩まされていませんか？蚊に刺されると発赤や丘疹が起こってかゆくなるなど迷惑な害虫です。一方、過去には日本脳炎など感染症の原因にもなった衛生害虫です。近年は、生活環境が改善されるなど蚊の媒介する感染症の発生は少なくなりましたが、海外では感染症が流行している地域もあり、特にアメリカで発生したウエストナイル熱、熱帯地域のマラリアやデング熱などは、今後日本にも侵入するのではないかと危惧されています。

こうした蚊が媒介する感染症を未然に防ぐには、普段からの蚊対策が重要となります。蚊の生態や発生場所などを知ることで、家の周りから発生源をなくすように心がけましょう。



写真提供：国立感染症研究所昆虫医学部

アカイエカ（体長：約 5.5mm）

- 特徴** 中型で赤褐色。日本全土に生息し夜間吸血する。
- 主な発生場所** 側溝、汚水槽、防火用水など汚い水
- 発生時期** 梅雨～9月頃



写真提供：国立感染症研究所昆虫医学部

チカイエカ（体長：約 5.5mm）

- 特徴** 見た目はアカイエカに似ている。冬季も活動する。
- 主な発生場所** ビルの排水槽など地下の水域
- 発生時期** 1年中



写真提供：国立感染症研究所昆虫医学部

ヒトスジシマカ（体長：約 4～5mm）

- 特徴** 小型で黒い。体中央に白い縦線がある。かゆみが強い。
- 主な発生場所** 墓地、竹やぶ等の小さな水溜り
- 発生時期** 夏期

感染症について 海外の一部の地域で流行した感染症が日本でも感染する可能性があります。

ウエストナイル熱

感染症法：第4類感染症に指定
 病原：ウエストナイルウイルス
 媒介蚊：アカイエカ、チカイエカ、ヒトスジシマカなど
 潜伏期間：3～15日
 症状：発熱、頭痛、筋肉痛など

デング熱

感染症法：第4類感染症に指定
 病原：デングウイルス
 媒介蚊：ヒトスジシマカなど
 潜伏期間：2～15日
 症状：潜伏後の突然の発熱、頭痛、筋肉痛、関節痛など

チクングニア熱

感染症法：第4類感染症に指定
 病原：チクングニアウイルス
 媒介蚊：ヒトスジシマカなど
 潜伏期間：3～12日
 症状：発熱、関節痛、発疹など



雌は吸血と産卵を 3~4 回繰り返す。



こんな時どうすればいいの?

防除方法



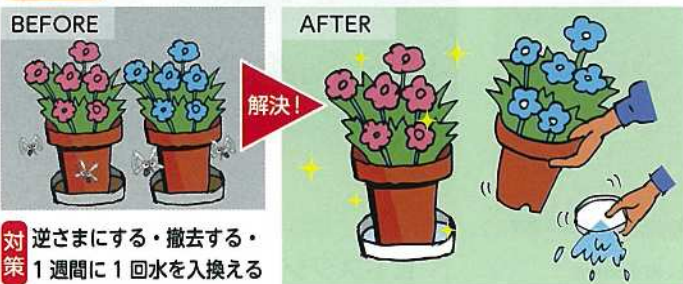
水を溜めない!!

定期的な清掃!!

蚊は卵から成虫になるまで水中で生活します。ちょっとした水たまりがあれば場所を問わず卵を産み増える特徴をもっています。すなわち、水がなければ蚊は増加しません。発生源となる「水たまり」を無くすことが最も効果的な防除対策となります。

case 2

植木鉢の受け皿



対策 逆さまにする・撤去する・1週間に1回水を入換える

case 3

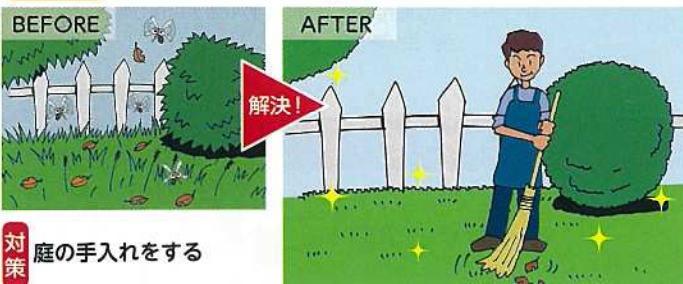
雨よけシートのくぼみ



対策 たるみを無くす

case 4

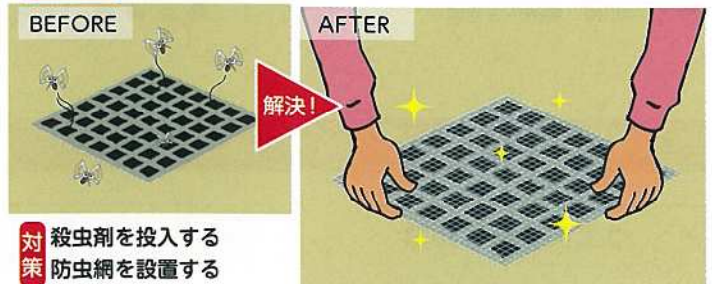
庭周り



対策 庭の手入れをする

case 5

雨水枡



対策 殺虫剤を投入する
防虫網を設置する